

2020 年度 地域連携活動報告書

連携先名称：霧島ガストロノミー推進協議会

協定締結日：2018/10/23

活動状況：継続中

連携先窓口：霧島市商工観光部 霧島 P R 課 美坂雅俊氏

活動資金：自治体予算

担当教員（所属）：江口文陽(地域環境科学部)

活動体制（単位）：大学

関連教員（所属）：上岡美保(国際食料情報学部)、上田智久(生物産業学部)

活動目的：連携協定書による連携内容に基づいた活動として霧島市の産業振興と人材育成を目的とした事業展開。

1.霧島市の地域活性化のための連携事業

霧島ガストロノミー推進協議会が推進する霧島市の食・農・人材に関する活動の支援と東京農業大学への技術情報の交流。

2.人材育成のための連携事業

講演会などによる地域での人材育成を目的とした事業の実施。

活動内容・成果：霧島市の地域活性化のための連携事業として開催されたゲンセン霧島の第 3 回審査会に江口文陽が審査員として参加した。この審査会の方式や地域の食・農・人材の掘り出しの手法について東京農業大学との意見交換も実施した。この意見交換会を基軸として東京農大ガストロノミーのスタートへも繋げていくきっかけが整備された。霧島ガストロノミー推進協議会との連携により、東京農業大学が学生とともに展開するガストロノミーとして見いだすための特徴や強みについての確認がなされた。

この連携を皮切りとして気候風土・地域の恵みを活かし先人が培った基盤整備や技術の蓄積を持った「オホーツク」のガストロノミーとして東京農大ガストロノミーを 2021 年にスタートさせる。

農大ブランドとは、学び実践し、実績を出すこと、内外への認知度やイメージが十分もたれていない眠っていた素材の掘り起しであることと認識し本学の活

動を開始する。

2.人材育成のための連携事業

新型コロナウイルスの影響により学生や教職員の交流などの事業の実施が中止となった。また、2019年まで実施してきた収穫祭でのゲンセン霧島の製品の物販展示の交流も実施できなかった。しかしながら、霧島ガストロノミー推進協議会の会員の皆様が東京農業大学「食と農」の博物館や大学キャンパスを訪問していただき、意見交換や歓談する機会を数回持つことが出来た。

課題・改善点：コロナ禍における連携事業の推進を今後検討して双方行儀によって更なる交流を深めたい。

参考資料

霧島ガストロノミー推進協議会

<https://kirishima-gastronomy.com/>

霧島市の食にまつわるあらゆる産品・サービス・取組・活動を霧島ガストロノミーブランド「ゲンセン霧島」

<https://kirishima-gastronomy.com/brand/>